

【樹木の部屋】

ブーゲンビレア (オシロイバナ科ブーゲンビレア属 *Bougainvillea*)

和名 : ブーゲンビレア **別名** : イカダカズラ (筏葛)、ココノエカズラ (九重葛)

英名 : Bougainvillea

ナデシコ目 蔓性低木

原産地 : 中南米

花言葉 : 情熱、あなたは魅力に満ちている、熱心、あなたしか見えない



花の色 : 赤、白、桃、橙、黄

← 写真-1 ブーゲンビレア
撮影日 : 2004年04月14日
撮影場所 : サイパン島にて
撮影者 : M さん



← ↑ 写真-2、3 ブーゲンビレア
撮影日 : 2018年04月19日
撮影場所 : スニオン岬
(ギリシャ)にて
撮影者 : M さん



← 写真-4 ブーゲンビレア
撮影日 : 2018年04月29日
撮影場所 : クレタ島
(ギリシャ)にて
撮影者 : M さん

写真1は、かつて、サイパン島の熱帯植物園を訪れた際、見かけました。写真2、3は、ギリシャのスニオン岬、写真4はクレタ島のクノッソス宮殿遺跡で見かけました。いずれも、天候にも恵まれ、4月とは言うものの、初夏？の青空に美しく映えていました。

ブーゲンビレアという名前は 1768 年にブラジルで木を見つけたフランス人の探検家ブーガンヴィルに由来するそうです。

実際の花は、いわゆる花の中央部にある小さな筒状の3つの白い部分(写真では中央に2つしか見えませんが、残りはまだ未開花です)。色づいた花びらに見える部分は花を取り巻く葉(包葉)で、通常3枚もしくは6枚あります。俗に魂の花とも呼ばれているそうです。

寒さにも強く、霜が降りない地域では戸外でもよく冬越しします。肥料と水を与え過ぎると、枝葉ばかり茂ってとげが目立つようになり、花がほとんど咲かなくなるので要注意です。肥料と水やりを加減することで、1年に2~3回開花させることができます。

ブーゲンビレアは、伸びすぎた枝があればその都度枝先を切り戻してかまいません。本格的な剪定は6月中旬~8月の花が一段落したタイミングで行います。ポイントは、葉を茂らせすぎず幹に日光が当たるようにすることです。トゲだらけになってしまった枝や、花付きの悪い枝は全て切り落とし、新芽を伸ばしながら樹形を整えていくようにすると良い。

ブーゲンビレアはつるバラのように木のでっぺんに花をつける習性があります。そのため、横に誘引すると先端だけでなく枝の所々から花芽を出すようになります。夏に剪定を行なっておくことで、冬に向けて耐寒性を高める効果があり、病気や害虫に強い丈夫な木へと生長してくれます。